



武蔵大生が企画運営、大学の魅力を発信する Web マガジン Musashi Web Magazine「きじキジ」

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）は、2013年より高校生や在学学生を対象とした [Musashi Web Magazine「きじキジ」](#) を公開しています。このサイトは、武蔵大生によって構成された編集部が企画・編集をし、大学生活やキャンパスのある江古田にまつわるさまざまな情報を、形式にとらわれない自由なスタイルで発信。学生ならではの視点や、ユニークな発想と行動力でコンテンツが作られているのが特長です。

Musashi Web Magazine「きじキジ」とは

Musashi Web Magazine「きじキジ」の編集部員は現在 42 名。大学広報活動の一環という側面もあり、スキルアップのため広報部職員が定期的にワークショップを開催するなど活動をバックアップしています。

「きじ」（雉）は、武蔵大学のロゴのモチーフで、本学のルーツである旧制武蔵高等学校時代からのシンボル。「きじキジ」のネーミングは、学生が提案した「雉」と「記事」をかけて採用されて生まれました。



Musashi Web Magazine

学生がデザインしたロゴマーク

「きじキジ」Pick up !

Web マガジンのコンテンツは、「特集」「イベント」「勉強」「ライフ」「進路」「恋愛」「グルメ」「ブログ」「その他」の 9 つのカテゴリに分類されています。

▼ポケモンサークルを立ち上げた 1 年生の話

正門付近に看板を持って立つ謎の 1 年生、彼はポケモンサークルの代表・発起人でした。編集部員がポケモンサークルに潜入、オリジナルポケモン「シラキジくん」を作成します。

※シラキジくんは本学の公式キャラクター

▼学生集まれ！梶裕貴さんが武蔵大学に来たよ！

声優・梶裕貴さんが NHK ラジオ「梶裕貴のラジオ劇場」の公開収録で武蔵大学に！きじキジ編集部員が独占取材を実施。ここでしか読めないスペシャルインタビューです。

▼【始発で来た】武蔵の 1 限に間に合う限界の場所から通学してみた

武蔵大学の 1 限に間に合う場所を検証・実践。なんと宮城県から武蔵大学を目指します。はたして 1 限に間に合うのか。スタート地点（宮城）に向かうまでの過程も必見の体当たりドキュメントです。



—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報部 担当：増田・西（ますだ・にし）

TEL : 03-5984-3813 E-mail : pubq-r@sec.musashi.ac.jp

■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

